



鶴居村

# つるい議会だより

## 子ども達の「未来の笑顔」のために



寒風を切り裂いて 前へ!

鶴居たんちょうスケート少年団

12月定例会

僕たち・私たちの感想

報告・審議 ······ P2~P3

補正予算 Q&amp;A ······ P4~P5

一般質問（5人） ······ P6~P10

傍聴席から ······ P11

視察・研修 ······ P14~P17

住民の声 ······ P18







## 平成27年度一般会計補正予算

# 6345万7000円 を増額！

### 平成27年度補正予算

#### ・一般会計補正予算

6345万7千円を追加し、総額38億5201万円とする。

#### ・診療所特別会計補正予算

64万8千円を追加し、総額8424万8千円とする。



輪が広がる楽しい放課後児童クラブ！

委員（4人）	補充員（4人）
大島 守	第一順位 佐瀬正人
渡辺 巖	第二順位 岩崎幸市
相馬寿美枝氏	第三順位 斎藤哲哉
氏 氏 氏 氏	第四順位 佐藤利光

補助対象：村内に事務所などを有する法人および個人事業者  
対象物件：新築の従業員用住宅

1棟につき延べ床面積50m<sup>2</sup>以上・建築費500万円以上

交付金額：延べ床面積（1棟）50～100m<sup>2</sup>の住宅…100万円

100m<sup>2</sup>を超える住宅…150万円

## 12月 定例会

第4回定例会は12月10日に開会し、同日閉会しました。

村長からの提出議案は、専決処分1件、条例制定1件、条例改正5件、計画変更1件、契約変更1件、補正予算2件の合計11件が上程され、すべての議案が原案通り可決されました。その他、選挙管理委員の選挙を行い、また、総務常任委員会に付託していた陳情1件は不採択となりました。

幌呂小学校児童にも  
放課後児童クラブ！

36万円

ブ」で行います。  
平成28年1月（3学期

始業）から利用開始し、

幌呂小学校児童を対象とした学童保育事業を、ふるさと情報館で実施している「放課後児童クラブ」で行います。児童の送迎と地域住民の移動手段としても活用するため、福祉バス車両の運行委託費の計上です。

選挙管理委員選挙  
選挙を行い、選挙管理委員が決まりました。任期は4年間です。

ほとんどが強風による倒木処理、看板の破損、外壁の破損などの補修費となっています。

10月8日に来襲した台風23号による強風・大雨の被害により発生した、公共施設などの被害を補修する経費です。

産業の振興をはかり、定住を促進するため、村内の事業者が従業員住宅を新築する場合に、村が一定額を補助する「地域住宅振興対策支援補助金」制度が創設されました。

台風23号の被害！  
330万円

従業員住宅に補助金！  
200万円





## 一般会計補正予算

Q

&amp;

A

ここが聞きたい

マイナンバー制度  
わかりやすい説明を

## 及川満浩議員

問 マイナンバー制度に  
より、行政手続きは簡単  
になるのですか？

答 例えば、公営住宅の  
入居手続きに、所得を証  
明する書類の提出が不要  
になります。

問 その際にマイナンバー  
を提示しないと、手続き  
はできないのですか？

答 個人を特定出来る書  
類の提出があれば、手続  
きは可能です。

問 1月から顔写真入り  
のマイナンバーカードの  
発行が始まります。村民  
の何割くらいが手続きす  
ると考えていますか？

答 その推計はしていま  
せんが、発行窓口の住民  
生活課で対応できる程度  
と考えています。

問 番号通知カードの配  
布状況は？

## 吉田保博議員

問 マイナンバー制度に  
対する不安を、特に年  
寄りから聞きます。対策  
が必要では？

契約の目的：林業専用道中久著呂  
支線開設工事  
契約の方法：指名競争入札  
契約の金額：変更前 60,480,000円  
変更後 61,206,840円  
契約の相手：株式会社 佐々木建設



強風で倒れたデントコーン

答 1124通発送し、  
78通戻つてきました。12  
月8日現在、住民生活課  
で49通預かっている状況  
です。最終的には戻つて  
きた日から3ヶ月で廃棄  
処分となります。

問 中久著呂の林業専用  
道は、当初、路盤や基礎  
の砂利に安価な再生骨材  
を使用する契約でしたが、  
在庫不足のため新材料を使  
用することになりました。  
設計の段階でわからなかっ  
たのですか？

答 国、道から基本的に  
再生骨材を使うように指  
導があり、前年度の北海  
道の再生骨材需要調査を  
もとに設計、積算しまし  
たが、今回は使用量を確  
保できませんでした。

問 10月8日の台風23号  
の強風により、設置した  
ばかりの下幌呂希の杜団  
地の大型看板などが破損  
しました。今後の設置へ  
の対応は？

答 すでに同じ場所で復  
旧済みです。今回の破損  
は施工に問題があつたと  
考えていません。  
過去の例も参考にしなが  
ています。その対応につ  
いての考え方は？

答 大きな被害なので、  
どのような支援が必要か、  
過去の例も参考にしなが  
ら検討しています。

契約の変更  
吉田保博議員



素早い  
災害対策を

## 及川満浩議員

## 吉田保博議員

問 10月8日の台風23号  
の強風により、設置した  
ばかりの下幌呂希の杜団  
地の大型看板などが破損  
しました。今後の設置へ

問 今回の強風被害では  
農業被害も大きく、飼料  
用トウモロコシの倒伏が  
320ha、牛舎やD型ハ

ウスの損壊が67件にもなっ  
ています。その対応につ  
いての考え方は？



# 一般質問

## 村政のここを問う 5人の議員が9項目の質問

**佐藤 吉人 議員**

計画について伺います。



**国安教育長**

ていただこうと、新年度  
早々から諸準備を進める  
予定です。

本事業は「釧路  
湿原という大自然  
の中で、地域住民  
をはじめとする多  
くの方々にウォー  
キングを楽しんでいただき、健康づくりを推進す  
るとともに連帯性と忍耐  
を培い、明るく豊かな精神の  
かん養を図ること」  
を目的として実施しまし  
た。

昨年8月30日に開催さ  
れた、釧路湿原右岸築堤  
におけるウォーキング大  
会は、まるで当日のため  
にとっておいたような快  
晴の下、村民をはじめ多  
くの釧路市民も参加され  
て大変盛況でした。

昨年3月の予算委員会  
の答弁では、「今回が初め  
てなので、次年度にむけ  
てさらに検討する」との  
ことでしたが、その検証  
結果と次年度以降の事業  
は「春の湿原を満喫」し  
ました。

総参加者は210名で、  
村内3ヶ所の集合場所か  
らバス送迎を行い、開会  
式から解散まで予定通り  
に進行しました。



Walking with mother! (お母さんと一緒に!)

議会だよりに対するご意見・ご要望をお寄せ下さい！

読者モニター募集中！

お問い合わせ先 議会事務局 (64) 2511  
メールアドレス turuimura21@yahoo.co.jp



## 松井 洋和 議員



### 次期村長選挙の出馬は？

#### 2期目に挑戦！

平成24年に大石村長が誕生して、早くも任期満了の4年が経過しようと

しています。

村長は就任以来、「笑顔と活気あふれる協働の美しい村づくり」を掲げて

さまざまな効果的な施策を打ち出し、高く評価されているところです。

しかし、人口減少問題や地方創生など、本村には難しい問題がたくさんあります。あらためて村長の高い行政手腕が必要とさ

れ、望まれているとの思いをしていきます。そこで、この4年間に掲げた公約や村政執行方針などの検証について、4月に行われると、鶴居村に對する私自身の経験不足などを痛感させられることも多々ありました。議会や住民の皆様のご協力や職員と共に知恵を出し合い、当面の課題などは一定程度の取り組みを推進出来たのではないかと考えています。

振り返ると月日がたつのは早いもので、平成24年4月に、日野浦正志前村長の村政を引き継ぐべく村長選挙に立起し、多くの村民皆様のご支援ご支持をいただきながら、無競争当選を賜り、7代目の鶴居村長とさせていただきました。

ただ、任期の評価は、村民の皆様が冷静に考えられるものだと思っていました。

次期村長選挙の出馬については、基幹産業の酪農の振興をはじめ、人口減少社会に対応したさまざまな地方創生の取り組み、「第5次総合計画」の策定作業など、村が取り組まなければならぬ事業も山積しています。

次期村長選挙の出馬に際しては、基幹産業の酪農の振興をはじめ、人口減少社会に対応したさまざまな地方創生の取り組み、「第5次総合計画」の策定作業など、村が取り組まなければならぬ事業も山積しています。

私が、一昨年、管内首長とともにベトナムを訪問しましたが、日本の主要都市と同様の都市機能を有し、経済発展を肌で感じた状況でした。

当面は、ASEAN諸国に向けた動きを注視しながら、将来に展望を開いていくような情報収集などに努めています。

今、地方は厳しい風にさ



賑わう「どさんこプラザ」シンガポール店  
(画像提供：北海道経済部食品関連産業室)

れ、望まれているとの思いをしていきます。

そこで、この4年間に掲げた公約や村政執行方針などの検証について、4月に行われると、鶴居村に對する私

自身の経験不足などを痛感させられることも多々ありました。議会や住民の皆様のご協力や職員と共に知恵を出し合い、当面の課題などは一定程度の取り組みを推進出来たのではないかと考えています。

ただ、任期の評価は、村民の皆様が冷静に考えられるものだと思っていました。

次期村長選挙に際しては、基幹産業の酪農の振興をはじめ、人口減少社会に対応したさまざま

な地方創生の取り組み、「第5次総合計画」の策定作業など、村が取り組まなければならぬ事業も山積しています。

私が、一昨年、管内首長とともにベトナムを訪問しましたが、日本の主要都市と同様の都市機能を有し、経済発展を肌で感じた状況でした。

当面は、ASEAN諸

村民の幸せと鶴居村の発展を脳裏に描きながら、や村政執行方針などの検証について、4月に行われると、鶴居村に對する私

自身の経験不足などを痛感させられることも多々ありました。議会や住民の皆様のご協力や職員と共に知恵を出し合い、当面の課題などは一定程度の取り組みを推進出来たのではないかと考えています。

ただ、任期の評価は、村民の皆様が冷静に考えられるものだと思っていました。

次期村長選挙に際しては、基幹産業の酪農の振興をはじめ、人口減少社会に対応したさまざま

な地方創生の取り組み、「第5次総合計画」の策定作業など、村が取り組まなければならぬ事業も山積しています。

私が、一昨年、管内首長とともにベトナムを訪

問しましたが、日本の主

要都市と同様の都市機能を有し、経済発展を肌で感じた状況でした。

当面は、ASEAN諸

国に向けた動きを注視し

ながら、将来に展望を開

いていくような情報収

集などに努めています。

これまで、先人

が築いてきた基盤や村の持つ特性を、最大限に有効活用した村づくりが今こそ必要であり、村民の

村長の舵取りの難しさ、皆様の幸せを願い、夢を

抱き、希望に燃えるよう

な存在感のある鶴居村を作り上げていくため、ふるさと鶴居村に對する私自身の思いやこれまでの

経験をバネに、先人

が築いてきた基盤や村の持つ特性を、最大限に有効活用した村づくりが今こそ必要であり、村民の

村長の舵取りの難しさ、皆様の幸せを願い、夢を

抱き、希望に燃えるよう

な存在感のある鶴居村を作り上げていくため、ふるさと鶴居村に對する私自身の思いやこれまでの





## 吉田 保博 議員



### TPP大筋合意の 今後の対応策は?

### より効果的な取組 を関係団体と!

10月5日にTPP交渉

が大筋合意しました。国  
会決議されていた「聖域」

重要5品目中の牛肉・乳  
製品も関税を大幅に削減・

撤廃する内容です。

その後、TPP総合対

策本部が「総合的な政策  
対応に関する基本方針」  
を決定し、政府は11月25  
日に、TPP関連対策大  
綱を決定しました。

対策の財源措置は「政  
府全体で責任を持つて確

保する」としてい  
ますが、村の酪農・  
畜産農家に予算面  
を含めてどのような  
内容で実効性を  
確保できるのか疑  
問であり、注視す  
べきです。

また、鶴居村の  
酪農・畜産農家が意欲の  
持てる対策を期待します。  
まだ決定ではありません  
が、現時点では、あくま  
でも大筋合意の段階です。  
参加各国の議会承認や発  
効まで相当数の時間を要  
するものと考えます。

また、TPP対策大綱  
は既存政策の延長であり、  
現時点では、具体的な事  
業が見えない状況です。  
今後の村の対応は、酪  
農経営に対する既存支援  
事業のより効果的な取り  
組みを施すとともに、担  
い手の確保や足腰の強い  
酪農経営を目指した施策  
の展開などを、農協や関  
係団体、さらには北海道  
や関係上部団体との連携  
強化を図りながら進めた  
いと考えています。

大石 村長



鹿追町長からバイオガスプラント  
の説明を受ける

水産業への転換を目指し、  
経営感覚に優れた扱い手  
の育成や国際競争力のあ  
る産地イノベーションの  
促進、畜産・酪農収益力

強化総合プロジェクトの  
推進を掲げています。  
村の今後の対応策です  
が、現時点では、あくま  
でも大筋合意の段階です。  
参加各国の議会承認や発  
効まで相当数の時間を要  
するものと考えます。

また、TPP対策大綱  
は既存政策の延長であり、  
現時点では、具体的な事  
業が見えない状況です。  
今後の村の対応は、酪  
農経営に対する既存支援  
事業のより効果的な取り  
組みを施すとともに、担  
い手の確保や足腰の強い  
酪農経営を目指した施策  
の展開などを、農協や関  
係団体、さらには北海道  
や関係上部団体との連携  
強化を図りながら進めた  
いと考えています。

## 家畜糞尿バイオマ スの推進は? より具体的な 検討を進める!

村内の酪農畜産農家の  
家畜糞尿処理は、各農家  
がそれぞれ対処していく、  
堆肥、尿、スラリーとし  
て農地に地上散布してい  
るのが現状であり、異臭  
により苦情があることも  
認識しています。

昨年度、村が実施した  
再生可能エネルギー利活  
用調査の結果で、電力の  
地産地消における利活用  
によるものが有効な手段  
として検証され、また、

そこで牛の糞尿を利用  
するバイオマスマント  
ですが、糞尿対策や乳質  
向上策としても大変有効  
です。

村としては、課題も多  
く調査検討も必要と思い  
ますが、村長の見解を伺  
います。

また、本村の酪農経営  
の充実強化や、新たな雇  
用創出による地域経済の  
活性化などに結びつく、  
重要な施策もあります。  
今後さらに調査研究を  
進め、村内の農業団体や  
地域との連携を図りなが  
ら、早期実現に向けた取  
り組みに努めていく考  
えです。

再生可能エネルギー事  
業の推進には、国も積極  
的な施策を展開していて、  
2018年までに全国1  
00地域のバイオマス産  
業都市構築を目指してい  
ます。

今後、本村も当該地域  
指定を前向きに検討し、  
より具体的な事業の検証  
を図るとともに、バイオ  
マス事業の、より具体的  
な検討を進めたい。



## 大津 泰則 議員



地販売で移住者が増加しており、2005年と2011年の対比では1・7%の減少率で、人口減少に一定の歯止めがかかっていますが、少子化層の構成割合が年々減少し、また地元に雇用の場がないため、高校生・大学生が都市部に流出しています。

平成26年12月に、国は少子高齢化や人口減少に対応するため「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。

本村も住民参加で「鶴居村総合戦略策定委員会」を立ち上げ、人口減少問題対策に対応され、現状の分析をし、今後目指すべき方向性を示す「鶴居村人口ビジョン」を策定しました。

その中で、本村は分譲自立促進計画(案)」の中に、第2子出産祝い金や

### 「人口ビジョン」と 人口減少の対策は！

### 出生率と純移動率の 向上を同時に図る！



持続可能なにぎわいのある村へ！

少子高齢化が徐々に進行し、現在では高齢化率が30%に迫るまでとなり、自然減を主因とした人口減少が明らかな結果となつたところです。

しかし、近年、地方創生の推進や地方分権改革の進展などにより、事務の専門性が高まるとともに転入超過を見込み、出生率や純移動率の向上を同時に図ることによる試算としたところであり、村民一人ひとりの志気を高め、持続可能な村づくりが、確立されること願うものです。

厳しさを増す地方財政の状況を見極めながら、今後、対応を検討したい。

高校生の医療費助成が新規事業として計画されています。自然増のためにも子育て支援策の充実を

願います。

そこで、現在、村の職員数は58名ですが、条例定数は65名です。

先般の議員協議会で、「人口ビジョン」の目標数値を、2060年に2000人を維持し、各種施策を講じていく考え方を説明しました。

予算化は、本村の子育て支援対策強化を図る上で、新たな過疎計画に位置付けをしましたが、その実

現に向けて時期や規模を

た地域の再生が求められ、更なる住民参加による村づくりに努めていかなければなりません。

組織の見直しを行い、職員数の増加が必要とされるのであれば、人口減を抑制するとあります。また、移動率として社会減を抑制するとありますが、雇用環境も含め大変難しい問題です。

そこで、現在、村の職員数の増加が必要とさ

れるのであれば、人口減を歯止めする一策として

を考えたい。

生率を向上させ、自然増加を図っていくことが極めて重要であるという結果にいたり、出生率の基

本目標数値を2020年には1・6%、2030年には1・8%、2040年には2・1%まで向上させる目標を立てました。

最後に、人口減の歯止めの一策とした組織の見直しや職員数の増加につ

いてですが、「三位一体改

革」以来、地方行財政の合理化を求められ、当該計画を基本とした職員管理制度によって人件費の節減に努めてきました。

しかし、近年、地方創

生の推進や地方分権改革

の進展などにより、事務

の専門性が高まるとともに

転入超過を見込み、出生

率や純移動率の向上を同

時に図ることによる試算

としたところであり、村

民一人ひとりの志気を高

め、持続可能な村づくり

が、確立されることを願

うものです。

また、第2子出産祝い金、高校生医療費助成の状況を見極めながら、今後、対応を検討したい。

## 大石 村長

先般の議員協議会で、「人口ビジョン」の目標数値を、2060年に2000人を、200人を維持し、各種施策を講じていく考え方を説明しました。

加えて、下幌呂地区での宅地分譲地販売の実績なども踏まえ一定程度の転入超過を見込み、出生率や純移動率の向上を同時に図ることによる試算としたところであり、村民一人ひとりの志気を高め、持続可能な村づくりが、確立されることを願うものです。

しかし、近年、地方創生の推進や地方分権改革の進展などにより、事務の専門性が高まるとともに転入超過を見込み、出生率や純移動率の向上を同時に図ることによる試算としたところであり、村民一人ひとりの志気を高め、持続可能な村づくりが、確立されることを願うものです。

しかし、近年、地方創

生の推進や地方分権改革

の進展などにより、事務

の専門性が高まるとともに

転入超過を見込み、出生

率や純移動率の向上を同

時に図ることによる試算

としたところであり、村

民一人ひとりの志気を高

め、持続可能な村づくり

が、確立されることを願

うものです。

また、第2子出産祝い金、高校生医療費助成の状況を見極めながら、今後、対応を検討したい。



鶴居小学校6年生21名と先生3名、一般の方2名が傍聴に来てくれました！

# 議会傍聴に来てくれた鶴居小学校6年生 僕たち・私たちの感想

まで積極的に質問や意見をし、村のことを考えていてすごいと思った。

これから、大人になるにつれて、学ぶことが沢山あります。会社で会議をするときなどは、皆さんを見習いたいです。

じとしました。

子ども達の笑顔のために頑張っています。

将来は君たちの手で！

鶴居村が平和なのは議員さんたちが村長さんのサポートをしてくれてい

るからだとぼくは思つ。

また次の議会に行きました。くなつた。

あの場について話を聞いていると僕にわからない話や言葉が出ていて、頭の中が真っ白になり、すごい迫力でちょっとびっくりしました。

今度は君たちが議員として質問を！

議員さんたちが、役場が提案した案を、どうしたら良くなつていくのかを考え歩いてすごかったです。そして、村長さんや教育長さんは質問を受けて、それも入れて良くしていくこうとしていてよかったです。

鶴居村を改善したいと思つて真剣に話し合いをしてくれてうれしいし、鶴居村の将来は明るいなと思った。

少しもつめりず、す一つと進んでいて、何でも解決できそうだった。

議論は大切です。  
将来の議員さん！

人一倍の、しっかりとした「調査・研究・努力」が必要ですよ。

将来の村長さん！

どちらが先に「理想」を「現実」に手こわいで負けないで！

村長さんも村民のことを考えて、「笑顔と活気があり、自立しているむらづくら」を考えていたので、児童会長の私も見習って理想の学校をつくっていきたいと思いました。

鶴居村だけではなく道外や海外の話もし、シンガポールでの北海道の事業などを考えていてすごい

議員さんの質問を聞いた

私は議会見学してみて、議員さんたちが納得する

村長さんは、村民の皆さんのお望みを聞いて予算を考えて、児童会長の私も見習って理想の学校をつくっていきたいと思いました。



真剣なまなざし！



## 議会閉会中も調査しております



### 総務常任委員会

12月3日に総務常任委員会を開催しました。

#### ◆出席議員◆

委員長 大津泰則  
副委員長 松井洋和  
委員 松井広道  
東 隆行  
及川満浩

### 産業常任委員会

12月10日に産業常任委員会を開催しました。

#### ◆出席議員◆

委員長 吉田保博  
副委員長 佐藤吉人  
委員 秋里広志  
東 隆行  
松井洋和

### 議会運営委員会

12月3日に、第4回定期例会について議会運営委員会を開催しました。

#### ◆出席議員◆

委員長 大津泰則  
副委員長 松井洋和  
委員 大津泰則  
副委員長 吉田保博  
委員 松井副議長  
説明員 山田副村長  
委員外 松井副議長  
委員 佐藤吉人

## 議会改革



議員の身だしなみについて  
議会運営委員会で改め  
て、議員としての身だし  
なみを再確認しました。

◆議員の身だしなみについて

議会運営委員会で改め  
て、議員としての身だし  
なみを再確認しました。

#### ◆釧路広域連合 11月定例会◆

東隆行議員より「平成  
26年度決算認定の件」が  
原案通り認定された報告

と、「副議長選挙の件」と  
して釧路町議会議員の佐  
藤昭平氏が当選された報  
告がありました。

### 広域連携 議会報告



明けましておめでとうございます

意見書の趣旨としては  
理解できる部分もあるが、  
現状の制度に問題はなく、  
「所得税法第56条」廃止  
の必要性はないとして、  
不採択としました。

「所得税法第56条の廃止  
を求める意見書」の取り  
扱い

9月定例会で総務常任  
委員会に付託された意見  
書採択について審議しま  
した。

鹿追町バイオガス発電  
の視察について

10月8日の悪天候によ  
り延期されていた、行政・  
農協・議会合同の別海町  
バイオガスプラントの視  
察は、鹿追町へと変更と  
なったので、行政と農協  
合同の視察への同行を協  
議しましたが、昨年度に  
議会として視察済なので、  
見送ることにしました。

①会期について

12月10日(木)～11日(金)ま  
での2日間としました。

②一般質問について

5人9件で発言順番は  
通告順としました。

- ・委員会などの公務時も、原則、背広またはスーツおよびネクタイを着用。
- ・議会事務局などへの長靴での出入りは、原則、履き替えて入室。

以上、議員は、議会な  
らびに自らの品位を重ん  
じなければならない。

第16章 158  
議場での会議は、男性  
は背広またはスージおよび  
ネクタイを着用、女性  
は節度ある服装で出席し  
なければいけない。

議場での会議は、男性  
は背広またはスージおよ  
びネクタイを着用、女性  
は節度ある服装で出席し  
なければいけない。

議場での会議は、男性  
は背広またはスージおよ  
びネクタイを着用、女性  
は節度ある服装で出席し  
なければいけない。

議場での会議は、男性  
は背広またはスージおよ  
びネクタイを着用、女性  
は節度ある服装で出席し  
なければいけない。



## 委員会活動報告

# ◆委員会構成の変更◆

及川満浩議員から、健康上の理由により、  
広報広聴常任委員長、総務副常任委員長の  
職務の辞任と、産業常任委員、議会運営委  
員の辞任の申し入れがありました。  
これを了承したことにより、委員会構成  
が変わりました。

◆産業常任委員会		◆総務常任委員会		◆広報広聴常任委員会	
委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
委員長 松井洋和	副委員長 東隆行	委員長 秋里広志	副委員長 佐藤吉人	委員長 吉田保博	副委員長 大津泰則
委員長 及川満浩	副委員長 東隆行	委員長 松井洋和	副委員長 吉田保博	委員長 大津泰則	副委員長 佐藤吉人
委員長 及川満浩	副委員長 東隆行	委員長 松井洋和	副委員長 大津泰則	委員長 大津泰則	副委員長 佐藤吉人

## 議長・議員が参加した行事



11月22日 下幌呂消防部詰所開所式



1月5日 消防出初式



1月10日 成人式



11月16日 森林を見る会

ぜひ！議会傍聴におこし下さい！

3月は予算特別委員会があります

理事者と議員の白熱したやりとりを傍聴しませんか？

次回定例会は3月上旬予定



# 主要施設視察報告

旧A団地（旧東公住）の解体現場  
は、きれいに整地されました。  
木コリ対策も必要ですね！



旧A団地（旧東公住）

## 村内の工事状況を視察調査

村民の夢のせて  
建設急ピッチ



鶴居たんちょうプラザ「つるぼーの家」

村として初めての「建築提案型  
買取方式」で建築中の村有住宅を  
視察しました。



幌呂の村有住宅



鶴居の村有住宅

下幌呂小グランド拡張工事



平成27年度に発注された村の事業を視察する事業執行調査が、11月24日に大石村長をはじめ担当課長同行で行われ、議会からは、議員8人と事務局長が参加しました。他に、単身者用住宅改築現場・改良舗装現場・音羽橋下流中洲撤去工事・鶴居消防下幌呂詰所を視察しました。



# 釧路管内議員研修

## 議員活動の充実はしっかりと報告から

平成27年度釧路町村議会議員研修会は、11月20日「浜中町総合文化センター」で開催されました。鶴居村からは6人の議員と事務局2人が参加しました。

講師には、釧路総合振興局地域政策部戦略策定支援担当部長の遠藤浩（いさむ）氏と、釧路公立大学学長の高野敏行氏をお迎えしました。

国は人口減少社会の急速な進展に対し、長期ビジョンとして2060年に1億人程度の人口の確保と、そのための総合戦略として、2015年から2019年までの政策目標・施策を策定しました。

同時に地方でも、人口動向や産業実態を踏まえて政策目標と施策を、国と同様に総合戦略として策定する作業を進めています。

道も各振興局にアドバイザーを配置して、各自

治体に対して支援をしていくことがあります。  
特に重要なのは、「まち・ひと・しごと」の創生に向けた政策5原則で、  
①自立性②将来性③地域性④直接性⑤結果重視であります。地域特性を生かして、住民自らがビジョンを構築することが重要となっていると強調されました。



地方創生時代に向けて勉強中

釧路総合振興局  
地域政策部戦略支援担当部長  
**遠 藤 浩 氏**

『地方創生の取り組みについて』



治体に対して支援をしていくことがあります。  
特に重要なのは、「まち・ひと・しごと」の創生に向けた政策5原則で、  
①自立性②将来性③地域性④直接性⑤結果重視であります。地域特性を生かして、住民自らがビジョンを構築することが重要となっていると強調されました。

テーマは「大学と地方創生」ということでした。が、直接的な地方創生論ではなく、釧路公立大学で学んだ学生の事例を紹介されました。



釧路公立大学 学長  
**高 野 敏 行 氏**

## 『大学と地方創生について』

大学というところは豊かな感性を生み出す源であり、しいてはそれが地域づくりになっていることがあります。

開学してから30年が経過しますが、昨年あたりから、釧路管内の高校生が多く入試に手をあげてくれるようになってきていて、これは自らが地域にある大学を、教育の栄養源として進学してきているのではないかと分析しているとのことでした。

地方創生は、あくまで手段であり、目的は地域のやる気、元気、生き残りですので、住民自らが緊張感を持って策定に参加することが重要であると感じました。



# 視察研修

## 活かそう 視察・研修

愛別町では、少子化の進行や共働き家庭の増加など、近年の社会情勢に対応するため、就学前の教育・保育を同時に提供する施設として、平成12年4月より、他町村に先立ち「幼児センター」として幼保一元化に取り組んでいます。



幼児センターで元気に遊ぶ子ども達！

### 幼児センター

平成27年10月27日から30日までの4日間、道内行政視察に行って来ました。

#### ◆ 参加者

議員全員9人  
議会事務局2人  
保健福祉課長補佐1人

### 愛別町

面、職員が休暇を取ることができないほどギリギリのシフトで勤務していることに頭を痛めていました。この住宅は一戸あたり2階建ての4LDKと広い間取りで、同居する子どもの人数で家賃が減額されるシステムとなっています。

愛別町では、次代を担う子ども達が健やかに育ち、暮らしやすい住宅・住環境づくりを整えるために、子育て世帯向け住

子どもの年齢や人数、また、子どもが独立した場合などが課題となっていました。

### 美深町

#### 山村留学制度

美深町では、平成3年から「仁宇布（じつぶ）

小中学校」で山村留学制度に取り組んでいます。

この25年間で延べ250人を受け入れ、留学生

ましたが、親子留学や地域が自分の家族をむかえるような態度で対応することが重要であるとのことでした。

学校の統廃合が進む中で、学校維持や児童生徒数を増やす一つの方策であると思います。



山村留学の仁宇布小中学校

#### 山村留学とは？

都市部の小学生や中学生が長期間に渡って親元を離れ、自然豊かな農山漁村で生活すること。

0歳児から小学校入学時まで一貫して預けることができる公的施設として利用されていて、子どもや保護者に寄りそつた運営をしていますが、反

# 道内行政 よりよい「むらづくり」のために

酪農経営の継承

美深町では、恩根内地の酪農家8戸が、「地域酪農家の担い手を確保しよ」と「居抜きによる經營継承」で新規就農者を受け入れる組織「R&Rおんねない」を平成15年に設立しました。

この間、4戸の新規就農を実現しています。

研修生の受け入れ、育成のシステムは、基本的には1年目に会員酪農家全戸で技術を学び、2年目からは継承予定の農場で研修を行い、順調に進めば3年目に継承酪農家から「居抜き」にて土地・牛・機械・施設などを継承し就農することになります。

1年目に複数の酪農家で研修することにより、さまざまな経営のむじで幅広い実習が可能になり、会員酪農家も指導力の向上を図ることができ、双方にとってプラスになる

ルセイとモード



腹部会長から  
丁寧な説明

として、一人ひとりの尊

「子どもの権利に関する条例」と同様に、最もまちづくりに必要な要素としての「住民参加」を柱としています。

農を実現しています。研修生の受け入れ、育成のシステムは、基本的には1年目に会員酪農家全戸で技術を学び、2年目からは継承予定の農場で研修を行い、順調に進

感じました。地域崩壊といふ危機感を住民が感じていなければ、いくらシステムを構築しても難しいと思います。

今後も道内外へ向けて新規就農者を募るとのことでした。

その中の施策として平成25年に、「おもじやりの障がい福祉条例」を制定しています。

この条例は、「まちづくり基本条例」の基本理念やまちづくりの原則に基

「R&F」は、一層拡大する経営継承で新規就農者を受け入れる組織「R&Fおんねない」を平成15年に設立しました。

離農による地域崩壊の危機を住民自らが共有していく点が素晴らしいと感じました。

## おもしやりの 障がい福祉条例

い、障がいのある人の自立を支援し、地域での役割を担い、誰もが分け隔てなく、安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

本校の研修では、  
特産品等販売促進施設  
が開業することを受けて、

奈井江町

道の駅



「おもいやり課」馬場課長から研修中！



## つるい議会だより

平成28年1月31日発行 148号

発行 北海道鶴居村議会  
編集 広報広聴常任委員会

0154-64-2511

鶴居村鶴居西1-1

# 自然を満喫 充実した生活環境 新しい暮らし満足！

夫から突然のリターン宣言があったのは2010年11月。夫の実家、釧路市内に住む必要がなくなった時「夢の杜」の存在を知ったのです。便利で自然が少ない東京近郊に生まれ育った私は、一目で気に入りました。

人のぬくもりを感じられ自然と調和するこの環境ならば、移住する価値がある。「ここならば住みたい！」と前向きな気持ちへと切り替わりました。

夫から突然のリターン宣言があったのは2010年11月。夫の実家、釧路市内に住む必要がなくなった時「夢の杜」の存在を知ったのです。

私の職業はエアロビクスやヨガの運動指導者です。都内は電車移動が主體のため驚くほど歩きます。しかも早歩きで。それに比べ、こちらは車移動のため運動量が少ないと、移転後に実感しました。



石橋美由紀

そうして息子が小学校入学直前の2013年3月に移住したのです。

転居後は10年ぶりにスキーや再開し、スノーモービル、カヌーやラフティング、乗馬トレッキングにも挑戦しました。1年を通じてアクティビティに参加してきました。

私が出来る生かし、

さまざまなかたに運

動を楽しんでもらいたい。

今後も地域の皆さんが高い環境の良い鶴居で、すっと元気で充実した毎日を過ごしていただけます。

手伝いが出来ればと思います。

正しい体の使い方で、楽しみながら継続的に行なうことが運動効果につながります。運動は楽しいと感じてから指導をモットーに、現在活動しています。釧路管内中心に民



2016年初日の出

広報広聴常任委員会					
委 員 長	佐 藤 吉 人	副 委 員 長	松 井 洋 和	委 員 員	大 津 泰 则
委 員 及 川	満 浩				



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。



「運動は楽しい」をモットーにヨガ指導中！